

# 主要外皮用剤一覧

## I群 Strongest



## II群 Very Strong



## II群 Very Strong



## III群 Strong



## IV群 Mild



## 配合剤



## 非ステロイド系抗炎症剤



## 免疫調整外用剤



※製品の写真は、2009年5月現在、市場に流通しているものを見本として掲載しました。  
 ※ステロイド剤 (I~IV群)、配合剤は5gチューブ、非ステロイド系抗炎症剤は10gチューブを撮影しました。  
 (ただし、リンデロン-DPおよびリンデロン-Vは10gチューブです)

※臨床効果の分類 (I群~IV群) は表紙の鳥雄らの分類 (軟膏剤を基準) を参考にしました。同一製品でも剤型により臨床効果は異なります。  
 下記の\*1、\*2、\*3、\*4をご参照ください。  
 \*1: 軟膏とクリームの効果の差が不明のものです。 \*2: クリームはIII群にランクされています。 \*3: クリームはII群にランクされています。  
 \*4: 軟膏はIII群とIV群の中間に、クリームはIV群にランクされています。 軟膏、クリームとも無印のものは両方が同ランクです。